

建築士 やまなし

No.69

— ARCHITECTURE YAMANASHI —

H28 建築士会 関プロ山梨大会特集

平成28年度 関東甲信越建築士会ブロック会

青年建築士協議会 山梨大会



●目次●

2. H 28 関プロ 山梨大会 特集①……………山梨大会へのメッセージ
3. H 28 関プロ 山梨大会 特集②……………大会実行委員長 山根健司・青年部長 渡辺省三
4. 目標新たに……………一般社団法人 山梨県建築士会 会長 雨宮健一
5. 建築士会連合会長表彰を授与されて……………石和支部 宮下幸夫・甲府支部 進藤哲雄
6. 支部だより 第50回 親睦スポーツ大会を終えて……………市川支部長 深澤勝博
7. 青年部会・女性部会の活動……………青年部会 天野 実・女性部会 河西真理子
8. 建物探訪 No.9 ……………大月支部 堂本隆司
9. 「平成27年度 山梨県地震防災訓練訓練」に参加して……………中巨摩支部 松浦芳恵・塩山支部 雨宮眞司
10. 県からのお知らせ
11. 平成27年度 山梨県建築文化賞等受賞作品一覧
12. 事務局よりお知らせ 会員の動静 編集後記

20年前の大会で共に活動し、出会った建築士の方々とは今も交流が絶えることなく、私の宝物になりました。人と人が顔を寄せ合い肩を抱き合い語り合う、関プロ青年協山梨大会は多くの青年建築士と心で繋がる絶好の機会です。多くの若い力に期待しています！(H8山梨大会実行委員長・長田孝三)

自然の中で建築を見つめ感じよう、清里の地で。(甲府支部青年部長・小田切崇)

建築士会へ入りいろいろな事を学びました。そろそろ恩返ししていく時期かなと思っています。(中巨摩支部副青年部長・名取宏典)

関プロが山梨に帰ってきた！熱い人も、そうじゃない人も清泉寮で燃え尽きましょう！(石和支部副青年部長・大沼伸)

山紫水明の地で行われる関プロ山梨大会を皆で楽しもう！(大月支部青年部長・佐野英樹)

10年に一度の自県開催、山梨の団結力を発揮し関プロ大成功に！(都留支部青年部長・宮下秋利)

大会運営する私たちが楽しまなければ、迎える方々を楽しませられるはずがありません。まずは楽しむところから始めましょう！(青年部長・渡辺省三)

熱き心で！「至誠にして動かざる者、未だ之れ有らざるなり(孟子)」(H18山梨大会実行委員長・小田切浩)

苦労も喜びも、かけがいのない仲間をつくる絆になります。大成功となるよう応援しています。(H18青年部長・星野正男)

青年建築士による地域に根ざした建築・街・人の新たな関係創出への建築合宿に期待！！(H18女性部長・若狭美穂子)

関プロ山梨大会「10年前は若かったな」と、また10年後に思うのだろう。「建築合宿」楽しみです！(女性部長・松野範子)

「人が好き 建築が好き 自然が好き」山梨大会でしか出逢えない時間をみなさまと一緒に。(女性部副部長・齋藤亜紀子)

大自然の中で関プロ in 清里。関東の建築士をびっくりさせちゃいませよ！皆でね。(女性部幹事・松浦芳恵)

みんなで、楽しく！ステップアップ！！(大会実行委員会相談役・秋山洋一)

清泉寮の星空の下、建築を志した時の気持ちを皆で思い出してみませんか(大会実行委員会会計・小林弘幸)

清里の青空・星空を見ながら関プロ山梨大会の成功で涙を流せるのを夢みて頑張ります。(富士東部北富士支部青年部長・渡辺靖彦)

建築士として出来ることを感じ取り、すべきことに取り組む。初めての方も意識さえ向ければ、享受することも大きいはず！(大会実行委員会副委員長・長坂治)

縁に出会って縁を生し、大会を通じて自らを高める。皆のための山梨大会を皆で一緒に創り上げていきましょう！(大会実行委員長・山根健司)

建築合宿

H28 関プロ山梨大会へのメッセージ
建築士として出来ること、すべきこと。



大会づくりも当日参加も、お問い合わせは青年部まで。お待ちしております。 seinen@ykenchikushi.org

山梨大会ホームページ <http://kanblo.ykenchikushi.org>

大会 Facebook ページ <https://www.facebook.com/kanblo.ykenchikushi>



「関ブロ山梨大会で得られるもの」

大会実行委員長・山根健司

山梨大会テーマ「建築合宿」。参加者は皆、清泉寮に泊まり込み、スーツを脱いで、心身も開放し、共に集まり肩を寄せ、ぶつかり合い、色々なことを語り合いたい。約1年半前、そんなことを話しながら関ブロ山梨大会の準備がスタートしました。その大会もいよいよ半年後6月に本番を迎えます。

私たち青年部は関ブロ大会に参加することで、様々な課題・問題について話し合い、色々なことを学び、そして県内外関わらず多くの掛替えのない仲間を作ってきました。関ブロ大会参加者は毎年約500名。山梨大会でも多くの仲間と会い、個々の結びつきを築き、今まで以上に熱く語り合う大会にしたいと考えております。

現在、山梨県建築士会青年部、及び女性部からの大会参加表明者は85名おり、また、多くの諸先輩方からご協力を頂いております。人と人とが会うことで初めて得られることがある。きっと新たな発見にも出逢えると思います。

まだご参加頂いていない皆様も一緒に大会を創り上げていきませんか。どうぞ、よろしく願い致します。



「関ブロ山梨大会を迎えるにあたり」

青年部長・渡辺省三

今年の6月、いよいよ関ブロ山梨大会が開催されます。青年部会としては、この山梨大会を、青年部会活動に参加したことの無い会員の方々の活動参加の切っ掛けになれば、と考えています。

一人でも多くの方に大会運営に関わっていただき、大会成功の達成感をみんなで共有すれば、きっと青年部会活動に興味を持っていただけるはずです。そして今後も続く青年部会活動を共に進めていく良い仲間になれると信じています。

山梨大会の成功は勿論、歴史ある青年部会の将来の為にも是非、多くの会員の皆様にご協力いただけますよう、宜しくお願い致します。



平成28年度関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会 山梨大会実施要項(案)

- 開催日：平成28年6月16日(木)～18日(土)
- 会場：清里 清泉寮、KEEP協会
(宿泊地：清泉寮、キープ自然学校) 〒407-0301
山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL：0551-48-2111

■大会テーマ：『建築合宿』

人と人、人と地域、また、人・地域と建築士のつながりなどから、建築の本来あるべき姿を考える。建築の未来を考える。建築士同士がぶつかりあい、つながり、結びつきを強くする。

「自然」には、ただ疲れを癒してくれるだけでなく、創造力や問題解決能力を向上させるなど、「頭を使う課題」や「仕事」へのパフォーマンスを向上させてくれる効果があると言われています。

自然の中から建築を見つめなおす。新しい発見をする。

自然の音を聴き、豊かな緑を視、香りを嗅いでください。自然に触れ、味わってください。

「建築合宿」。様々な問題や課題が取り巻く昨今、私たち青年建築士が合宿の中でぶつかりあい語り合う。自然の中で、想像力・創造力を養い、私たち青年建築士が出来ること、そして建築の未来を語り合しましょう。

- 第1分科会 各都県活動報告『地域とつながる建築士活動』
- 第2分科会 『自然の中から建築を見つめる』
(基調講演、およびワークショップ)
- 第3分科会 関ブロ青年建築士協議会企画
(テーブルディスカッション)
- 第4分科会 『建築の未来を考える』
・様々な角度、視野、分野から、より良い建築の未来を考える
- 1) 第4分科会-a 『地域づくりと建築から変化する景観』
- 2) 第4分科会-b 『大事なものは足元にある』
- 3) 第4分科会-c 『未来の子どもたちが笑って暮らせる建築』
- 4) 第4分科会-d 『自然の中から建築を見つめる』

目標新たに

一般社団法人 山梨県建築士会

会長 雨宮 健一



今年度も新しい年を迎える所までやって参りました。昨年中も、一・二級・木造建築士の試験、街づくり勉強会、各種講習会、応急危険度判定訓練、全国大会「石川大会」、親睦スポーツ大会等々、猛烈なスピードで事故もなく、緻密なスケジュールを消化して来ました。これも偏に会員諸兄、関係行政機関、また友好諸団体の皆様方のご指導ご協力のお陰と、心より感謝申し上げます。これからも新しい年度に向かって、気持ち新たに邁進努力を進める所存です。世の中は、景気や環境があまり良くない状態ではありますが、我々の職能は、無の中から何かを生み出せる力を持った集団です。新たな理想、新たな個性、新たな発想を持って突き進んで行きましょう。そんな中、平成28年度関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会山梨大会が6月16日～18日に清里の清泉寮で開催されます。現在山梨大会に向けて、実行委員会や青年部会が活動の様子や告知などをおこなっています。昨年6月に開催されました群馬大会での2日目にも45名の参加者で山梨大会の会場となる清泉寮の視察、及び実行委員会を開催した報告がされました。会場を実際に視察し、大会実施内容や会場割り、利用方法などについて、更に具体的な協議が行われたそうです。また9月に開催された第5回実行委員会では、千葉県、群馬県、神奈川県や長野県の青年委員長も参加し、他都県からの意見や要望も取り入れ、内容の濃い会になったようです。夜には、懇親会が開催され、初参加の方も含め参加者全員で様々なことを語り、大いに盛り上がりました。翌日には、第2分科会で実施予定のKEEP自然体験プログラムを体験したそうです。第4分科会は、『建築の未来

を考える』をメインテーマに様々な角度、視野、分野から、より良い建築の未来を考える。そしてa～dの4つのテーマから構成されていて、a『地域づくりと建築から変化する景観』・行政と民間と大学が連携し、看板や道路標識など道路景観の改善に取り組む「八ヶ岳南麓風景街道の会」との協働企画で、個々の建築から景観改善へ取り組めることについて、事例紹介や実際に建築に取り組む人たちから今後を見出していく。b『大事なものは足元にある』・自然環境と建築との関わり、建築を取巻く自然環境などに趣きを置きながら業務にあたっている専門家・講演者から、建築士としてできる事を考える。c『未来の子どもたちが笑って暮らせる建築』・地球温暖化やCO2排出量増加に伴う気温上昇の問題となり、その対策の一つとして様々な自然エネルギーや省エネ技術などが創出される。これらの導入には必ず建築に係わることとなり、私たち建築士は地球温暖化対策のための重要な専門家とも考えられる。子どもたちが笑って過ごせる未来を作るためにも、今、建築士がすべきことを考える。d『自然の中から建築を見つめる』・KEEP協会の「自然体験プログラム」を活用し、清里の山、森林の中を歩き、自然の中から、建築へのヒントを見つける。

今回行われたのは、テーマdの体験で自然の中から様々なこと、普段気付かないことなどや忘れていたこと、また日頃の業務に役立つ多くのことを学んだそうです。このような、青年部を中心に日々研鑽・努力を積み重ねていることを念頭に、我々も建築士として一つの目標に向かって突き進みましょう。

日本建築士会会長表彰を授与されて



石和支部

宮下 幸夫

この度、第58回建築士会全国大会(いしかわ大会)におきまして日本建築士会会長表彰を頂きました。

山梨県建築士会両宮会長をはじめ諸先輩方のご推挙のおかげと心より感謝申し上げます。図らずも建築士としてまだ若輩な私がこのような名誉ある表彰を受けましたことは誠に身に余る栄光です。

私事ですが、昭和47年に単身東京から山梨県に移り住み43年の月日が経とうとしております。資格を習得し建築士会に入会したのが41年前です。山梨に来たばかりで右も左もわからない状態でしたが、建築士会の諸先輩方にご指導いただきまして、今までなんとかやってこれました。私を育ててくださったのは山梨県の建築士会の方たちです。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今回の建築士会全国大会の開催されました石川県には金沢駅があります。金沢駅は2011年にアメリカの旅行誌「Travel&Leisure」にて「世界で最も美しい駅」14選にも選ばれました。私も以前から一度は訪れてみたいと思っておりましたが、機会がなく訪れることは叶いませんでした。しかし、この度夢も叶い金沢駅に訪れる事ができ

ました。鼓門の威風堂々とした門構えに驚き、その建築美と構造の素晴らしさには息を呑みました。加賀藩以来の伝統と芸能を大切に金沢の未来への挑戦ともとれるその姿は日本を代表するにふさわしい建築物なのではないかとも思えました。

話は変わりますが、石川県は揺れを体で感じる事ができる「有感地震」が都道府県別で二番目に少ない県とされ、多くの方たちが大きい地震は起きないと考えがちだろうと思います。しかし石川県にはNHK連続テレビ小説の舞台にもなりました能登半島があり、能登半島は2007年に震災を体験しております。住宅被害では全壊684棟、半壊1,733棟、一部損壊が26,935棟にものぼりました。このような震災が起きてしまったら私たち建築士にできる事はあまりありません。しかし、被害を少しでも減らせるように対策や住民の理解を得ることが必要不可欠になると考えます。技術の進歩は日進月歩、我々も常日頃から勉強を欠かさず新しい事にも取り組み、私たちの子供や孫の代に少しでも安全で安心な明るい未来になるようにこれからも努力をしていきたいと思う所存であります。

士会連合会全国大会表彰を受けて



甲府支部

進藤 哲雄

本年度の全国大会で表彰をいただきました。考えてみると私が建築士会に入会させていただいてから約40年になります。東京から10年ぶりに帰ってきた時に、故富士建築研究所・田中哲也さんから、「建築士会青年部に入らないか」と誘われたのがきっかけでした。

東京の設計事務所と山梨の実情の違いに戸惑っていた私に、田中さんは士会青年部を通じて色々な出会いと勉強の機会を与えてくれました。40年間も山梨で建築設計の仕事が続けられたのも、士会の活動を通して設計そのものだけでなく実社会の勉強もさせていただいた事によるものと感謝しております。

士会連合会主催の海外研修旅行への参加、山梨独自での企画によるニューヨーク・フランス等への研修旅行、朝日町のまちづくりを初めとする景観ガイドプランの作成等。

今考えて見ると皆楽しい思い出です。

私も60代後半になり、冥土の土産として2040プロジェクトと言う山梨建築設計4会合同のまちづくりプロジェクトを立ち上げ活動しております。青年部や女性部会の方々にも参加いただいて、リニアを契機として甲府盆地山梨のグランドデザインを考えるという息の長いプロジェクトです。30代40代の建築士を中心に活動はもう4年目になりますが、去年は連合会のまちづくり補助金もいただきオリオンイースト緑化、ペインティングなども行いました。本年度はリニア駅周辺の開発計画に取り組んでいますので、興味のある方はぜひご参加ください。

40年に及ぶ士会活動が私にとって大きな意味を持ち、今回の表彰をきっかけに改めて士会で活動出来たことを感謝いたします。

支部だより

第50回 親睦スポーツ大会を終えて

市川支部長 深澤 勝博



夏の暑さを避け、記念大会を8月から11月に変更し開催しました。11月では寒いのでは、いろいろ試行錯誤し心配しましたが好天に恵まれスポーツ日和の一日となりました。

県内から10支部、青年部会、女性部会大会関係者約180近い会員の参加をいただき、無事に大会を迎えられたことを皆様に感謝します。

開会式では、両宮建築士会会長の挨拶に続いてご来賓の山梨県県土整備課総括技術審査監 松永久士様、市川三郷町長 久保眞一様からご祝辞をいただきました。競技上のルール説明、ラジオ体操の後ご来賓の始球式が行われあわやホールインワンになりそうな良い結果でした。

競技内容では、マイスティックでの参加選手、ホールインワンを1人で数多くとる選手がおりましたが、全体的にグランド状態が10年前と違い良好のため、オーバー気味の選手が目に入りました。

成績発表では、青年部会が初優勝、1打差で身延支部、年齢優先で3位市川支部の結果でした。女性部会も頑張ったはずですが・・・。

ご当地賞として大塚にんじん、富士川町のゆずを各4人分用意し好評でした。

今後も建築士会がより一層飛躍するために会員相互の親睦・技術向上を高めていただきたいと思います。



青年部会の活動報告

建築士会全国大会(石川)に参加して

石和支部 天野 実



今年6月、群馬での関東ブロック大会に青年部として初めて参加させて頂いてから半年が経ち、全国大会参加へ先輩方から声をかけてもらい、まだまだ青年部として貢献もしていない中、立て続けに貴重な経験をさせて頂きました。

関ブロで各県の代表が競い合っていた活動報告が全国大会でどのように消化されていくのかがよく理解できました。発表後のグループディスカッションは初め

て会う人同士にもかかわらず、建築士という共通の枠組みの中、同じ目線で活発に意見を交わしている様子が印象的でした。

これらを目の当たりにし、全国の建築士が共有の意識・目的を持って、各地で活動をしていることに自分も参加していけるか期待と不安を感じますが、この研修旅行を通してさらに親交を深めた青年部の先輩方に今後ご指導受けながら、頑張りたいと思います。

女性部会の活動報告

「みつめなおそう山梨 in 南巨摩&市川」

女性部会 河西 眞理子

さて、師走も間近の11月29日、四回目となる山梨再発見の旅をしました。峡東、北杜、甲府地域に引き続き今年は、県南部の再発見の旅です。

まず、バスは、ひたすら52号線を南下して、早川町の赤沢宿へ向かいます。県道から狭い山道に入りくねくねと登ってゆくこと10分、突然空が開けた所が赤沢宿でした。



身延山から七面山へ向かう参拝客の宿場で、明治から昭和初期の最盛期にはどの旅籠も満員だったと、軒先に並んでいる「講中札」を見ながらガイドの望月さんが話してくださいました。20年ほど前に国の重要伝統的建造物群保存地区の指定後、保存、修復が徐々に進み、さすがに信仰の地、すがすがしい気分で石畳を散策しました。次に市川三郷町に入り「今昔通り」の市川協会などを車窓から眺めながら、和紙を製造販売している会社を訪ね、市川の和紙を世界に広める取り組みを伺い、全て和紙でできている茶室を見学させていただきました。次の富士川町では、明治時代の藤村式建築、^{つぎやわ}香米学校の太鼓堂にあがり、6面ある窓を開き、ガイドのおじさんのリニアが通るルートなどの説明を聞きました。

老若男女、ベビーカールの赤ちゃんから還暦過ぎチームまで、3世代総勢17名の賑やかなバスの旅でした。毎回の事ですが、企画から当日のおやつの手配まで幹事の皆様のご尽力に感謝いたします。



大ツキ軽トラ市に参加して

大月支部 堂本隆司

10月17日(土)大月駅前商店街で行われた第5回大ツキ軽トラ市に参加しました。

イベント趣旨は国道20号線大月駅前交差点から大月市役所前までを全面通行止めとし、その約350mの間に、軽トラックの模擬店による市場を配置し、野菜・果物・加工食品・工芸品等の大月市ならではの地域資源を生かしたものを販売して、近隣住民と地域出店者との交流を図り、中心市街地の賑わいの創出や、地域の活性化につなげるイベントです。

現大月支部長の和田之男氏の以前から参加してみたいとの思いが、毎年日程が重なることが多い建築士会全国大会の日程が月末に設けられた為、今年是实现する機会を得ることが出来ました。

9月に臨時幹事会の招集があり、支部長の熱い思いを聞き、全員賛同し、準備が始まりました。



どんな目的で、何を提供すれば、多くの方にPR出来るかを、酒の席に場を移し楽しく議論しましたが、今終わってみて思うに、実現できたことよりも、それまでの準備のなかでの語らいの中に、最も大切な部分があるのかなと思うところです。

結局、提供するものは、防災意識の高まりを勧めるために、災害時に便利な缶ビールの空き缶を加工して作るアルコールバーナーと縁起米(雑穀米)のセットに決まり、仕事を早めに終え、支部長の事務所に集まり製作に掛かりました。

上手に作れるかなとの心配は有りましたが、集まって見れば、各自インターネット等で調べ、製作するための

用具などを事前につけてくれた方や、アルコールバーナーのうんちくを語る方、黙々と作業する方などがいて、その思いは払拭されました。

最後に事務所の照明を落とし、着火テストを行い、不良品は修正し、終わった時には、全員アルコールバーナーの専門家となりましたと言えるほど(ちょっと言い過ぎですが)、自己満足の領域に達していました。



当日は小雨交じりの日でしたが、多くの市民が集まり、また電車でも来ましたという近隣

からの参加者も多数おり、4回の開催を経て充実したイベントとして定着していると感じました。

私達のブースは他に比べちょっと地味な感じでしたが、それがあえて目立ち、何をやってると覗かれると、支部長作成の「信頼出来る建築士」のポスターが目立ち、地域に根ざした、隣にいる身近な建築士の存在のPRが出来ました。

アルコールバーナーの販売は盛況で、準備していた物では足りずその場で製作し、工作教室と化し、作り方を見学する方も多く、そのアルコールバーナーで沸かしたお湯で作ったコーヒーを提供しつつ語り合い、うんちくも提供し、防災意識の促進と、すぐ隣にいる建築士の存在をささやかながらお伝え出来たと感じるどころです。

我々建築士も街に出て積極的に交流することにより、日頃の業務と違った場での自分自身の職能意識の高まりと、その先に有る市民と共にある街づくりの序説を感じることに出来た貴重な一日でした。



「平成27年度 山梨県地震防災訓練」に参加して

中巨摩支部 松浦 芳恵

10月25日、駿河トラフを震源とする東海地震を想定した地震防災訓練が島上条公園で甲斐市と県の主催により行われました。

私たち建築士会中巨摩支部は「被災建築物応急危険度判定模擬訓練」をしました。県土木部建築住宅課によるビデオでの説明を受けた後、公会堂を被災建築物に見立てて判定をしました。講習会やビデオで見て頭には入っていましたが、実際に判定から知事への報告までの訓練を行い、より自信がもてました。回りを見渡すと、ヘリコプターを使つての救助、実際の医師による診断や警察官、消防士、市民による訓練も行われていました。そこには地震体験車がありました。もともと興味があった私はせっかくだから…と乗って、東日本大震災クラスを体験しました。大きな揺れ、長時間の揺れ、机をつかんでいないと振り飛ばされる、喋ると舌を切る程の状態にショックを受けました。涙

が出そうになり、やっと本当の怖さを知りました。そしてこの訓練の大切さがわかりました。

建築士は地震の後、建物の安全か否かを市民に知らせることは勿論、安全な建物を設計する義務がある。それが私たちの役目だと改めて感じた貴重な日になりました。



被災建築物応急危険度判定模擬訓練に参加して

塩山支部 副支部長 雨宮 眞司

12月1日 県土整備部建築住宅課主催による被災建築物応急危険度判定模擬訓練が行われ、40名の判定士が参加しました。

山梨市役所に集合し、講習・調査表への記載方法の説明を受けました。その後、北中沢住宅に移動して解体予定の木造住宅2棟を被災住宅に見立て実践的な訓練を行いました。

今回は、外観調査のみの実施でした。目視による損傷程度の把握・下げ振りを使用しての傾斜調



査など、判定マニュアルに則った調査を行いました。建物に判定ステッカーを貼付け、現地本部に調査票を提出して現地訓練は終了しました。

市役所に戻り判定結果の集計・解説・総括が行われました。今回は、判定結果にばらつきがありました。模範解答を参考に調査の注意点・判断基準の考え方についての説明が有り、微妙な部分の判断について参考になりました。また各班が提出した調査票にも添削が行われ、記入方法についても理解できました。

実施訓練の大切さを実感すると共に、木造以外の構造物についても訓練の機会が有ればと思いました。

現在1,445人が判定士に登録していますが、想定される震災に対して1,500人登録を目標としているとのことです。県より登録者の高齢化や新規建築士の減少などもあり、今後の目標登録者数を確保するために、未登録の建築士への啓発・更なる技術の習得等のお願いが有り、模擬訓練は終了しました。

県からのお知らせ 山梨県建築住宅課

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenchikujutaku/index.html>

—平成27年度 山梨県建築文化賞—

山梨県建築文化賞推進協議会

「中村キース・ヘリング美術館/HOTEL KEYFOREST HOKUTO/VILLA KEYFOREST」 「清里聖ヨハネ保育園」建築文化賞に選ばれました

本年度の山梨県建築文化賞への応募（住宅建築19点、一般建築物等15点、公共建築物等21点、計55点）の中から、建築文化賞には「中村キース・ヘリング美術館/HOTEL KEYFOREST HOKUTO/VILLA KEYFOREST」と「清里聖ヨハネ保育園」の2点が、建築文化奨励賞には5点が選出されました。

昨年11月10日に県立図書館において表彰式が行われ、後藤知事から受賞作品の建築主、設計者、施工者に表彰状と記念品が贈られました。

これまでの受賞作品も含め、建築住宅課のホームページに掲載されていますので、是非ご覧下さい。建築士会ホームページからもアクセスできます。

今後とも、本事業の推進に建築士皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

【平成27年度 山梨県建築文化賞等表彰建築物一覧表】

(敬称略)

賞の名称	部門	建築物の名称	所在地	建築物の概要		建築主	設計者	施工者
				用途	工事種別/構造/規模(階数、延床面積)			
建築文化賞	一般建築物等	中村キース・ヘリング美術館 HOTEL KEYFOREST HOKUTO VILLA KEYFOREST	北杜市 小淵沢町	美術館 ホテル 研修施設	美術館棟(増築部) 増築工事/鉄筋コンクリート造/1階建て、405.2㎡ ホテル棟 新築工事/鉄筋コンクリート造/3階建て、956.4㎡ 研修施設棟 新築工事/鉄筋コンクリート造/2階建て、488.7㎡	中村和男	(株)北川原温建築都市研究所	笹沢建設(株)
	一般建築物等	清里聖ヨハネ保育園	北杜市 高根町	保育園	新築工事/木造/1階建て、615.6㎡	(公財)キープ協会	(株)環境デザイン研究所(設計協力) 山梨の木で家をつくる会	日経工業(株)
建築文化奨励賞	住宅建築	父への思いを込めた土間の家	中巨摩郡 昭和町	住宅	新築工事/木造/2階建て、192.7㎡	I氏	(株)Vent計画設計室	(有)匠建築工房
	公共建築物等	韮崎市立すずらん保育園	韮崎市 大草町	保育園	新築工事/木造/1階建て、1,687.7㎡	韮崎市	(株)Vent計画設計室	内藤ハウス・深澤工業 共同企業体 関東電設(株) (株)日設管興
	良好なまちなみ景観を形成している建築物等	ロザ ヴェール ROSA VERTE	中巨摩郡 昭和町	商業施設	新築工事/鉄骨造/1階建て、228.7㎡	(有)コマツガーデン	古谷デザイン建築設計事務所	(株)内藤ハウス
	良好なまちなみ景観を形成している建築物等	かわだ 西広門田の再生民家	甲州市 塩山	住宅	改修工事/木造/2階建て、260.2㎡	M氏	一級建築士事務所 (有)アルケダアティス	匠舎(株)石川工務所
	良好なまちなみ景観を形成している建築物等	県議会議事堂委員会室棟	甲府市 丸の内	事務所	増築工事/鉄筋コンクリート造/2階建て、1,383.9㎡	山梨県	(株)雨宮建築設計事務所	早野組・日経工業 共同企業体 鶴田電気(株) 大栄設備(株)

【山梨県建築文化賞の応募・受賞件数（第1回～第26回）】

住宅建築の部門			一般建築物等の部門			公共建築物等の部門			良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門				計			
文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	部門別受賞数	応募数	文化賞	奨励賞	特別賞	応募数
8	32	832	14	29	787	18	24	676	6	34	住宅13 一般24 公共3	16	46	119	1	2,311
40			43			42			40				166			

※ 第1回、第2回は、一般建築物等、公共建築物等、良好なまちなみ景観を形成している建築物等の3部門で募集。
(住宅建築は一般建築物等に含まれた)

- ・ 第3回からは住宅建築、一般建築物等、公共建築物等の3部門で募集。良好なまちなみ景観を形成している建築物等については3部門から賞の主旨にかなうものを審査委員会の審査により選出。
- ・ 第17回からは、国、県の建築物についても表彰対象となる。

※ 山梨県建築文化賞推進協議会（構成団体）

山梨県、(一社)山梨県建設業協会、(一社)山梨県建築士会、(一社)山梨県建築設計協会、(一社)山梨県建築士事務所協会、(公社)山梨県建設技術センター

■平成27年度 山梨県建築文化賞受賞作品



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

- ①中村キース・ヘリング美術館/HOTEL KEYFOREST
HOKUTO/VILLA KEYFOREST〔一般〕(建築文化賞)
- ②清里聖ヨハネ保育園〔一般〕(建築文化賞)
- ③父への思いを込めた土間の家〔住宅〕(建築文化奨励賞)
- ④韮崎市立すずらん保育園〔公共〕(建築文化奨励賞)
- ⑤ROSA VERTE(ロザ ヴェール)
〔良好なまちなみ景観〕(建築文化奨励賞)
- ⑥西広門田(かわだ)の再生民家
〔住宅・良好なまちなみ景観〕(建築文化奨励賞)
- ⑦県議会議事堂委員会室棟
〔良好なまちなみ景観〕(建築文化奨励賞)